

憲法記念日(三日)
みどりの日(四日)
こどもの日(五日)

昭和二十二年の日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する日。
自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し豊かな心をはぐくむ日。
子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、父母に感謝する日。

令和八年

生命の言葉 五月

他人の言動は鏡に自分をうつす鏡の
ようなものであるから、他人を見て自
分を改める参考に使えよということ。
この言葉は、『書経』の『人は水に鑑み
る無く、當に民に于て鑑みるべし』に
基づいていると云われている。

作者不明

『書経』は五経(易・書・詩・礼・春秋)の一つである。
中でも『書経』は『詩経』と並んで古くから「詩
書」と併称された最も基本的な文献であり、古
くは『尚書』とも称された古典中の古典ともい
うべき文献である。
虞書、夏書、商書、周書の四部に分かれており、
内容は政治上の心構えを訓戒したものである。

人こそ人の鏡

『書経』

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

